

教育 GP シンポジウムのご案内

討議力シンポジウム 「対話のなかの学び」

——基調講演とパネルディスカッション——

日時：2011年3月18日（金）15：00～17：30
会場：東京大学教養学部駒場キャンパス 18号館ホール
京王井の頭線駒場東大前駅下車すぐ
主催：東京大学教養学部 教育 GP プログラム
無料、事前申し込み不要

東京大学教養学部の「質の高い大学教育推進プログラム：PISA 対応の討議力養成プログラムの開発」の最終年度末を迎えるにあたり、シンポジウムを開催いたします。

基調講演（15：05～16：20）

トム・ガリー (Tom Gally) 准教授による基調講演「討議の文法に向けて」は、以下の内容を予定しています（日本語を使用）。

小グループで行う討議は、教育現場のみならず職場や一般社会など、さまざまな場面で知識創造や意思決定に重要な役割を果たします。その反面、期待した成果が得られない討議も少なくありません。この講演では、独り占め、堂々巡り、話の脱線などに由来する討議の失敗を避けるための討議の「文法」、すなわちよい討議を実現するための簡単なルール、そしてそのルールの教育などへの適用を提案します。

パネルディスカッション（16：30～17：30）

パネリスト：トム・ガリー（英語、言語情報科学専攻准教授）

長谷川 寿一（動物行動学、広域科学専攻教授・教養学部長）

村松 真理子（イタリア語、地域文化研究専攻准教授）

山脇 直司（公共哲学、国際社会科学専攻教授）

司会：山本 泰（社会学、国際社会科学専攻教授：本プログラムの取組担当者）

パネルディスカッションでは、動物と人間の学習行動の違い、ハーバード大学など世界中の公共哲学の授業で討議が活用されている背景、駒場の初修外国語の授業で討議を活用した事例などについて活発に議論を交わします。

どうぞ皆さま、奮ってご参加下さい。

当日、討議力養成を授業に組み込む際のアイデア・ツール・環境などのヒントをまとめた「授業の中での討議力養成 HINTS10」などの資料を配付します。

問い合わせ先：03-5465-8822 メール：toug@komed.c.u-tokyo.ac.jp

ホームページ：http://www.komed.c.u-tokyo.ac.jp/toug/